

令和7年

壱岐市議会定例会6月会議

# 行政報告

壱岐市

# 目 次

<b>1. はじめに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（1）救急医療体制の確保・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（2）壱岐クリーンエネルギー株式会社の完全民営化・・・・・・・・	2
（3）ふるさと納税の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	3
（4）組織機構の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・	4
<b>2. 交流人口の拡大</b>	
（1）観光施策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	5
（2）ツール・ド・壱岐島の開催・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（3）スポーツ合宿の誘致・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（4）企業研修の誘致・・・・・・・・・・・・・・・・	7
<b>3. 産業の振興</b>	
（1）農業の振興・・・・・・・・・・・・・・・・	7
（2）水産業の振興・・・・・・・・・・・・・・・・	8
（3）港湾・漁港の整備・・・・・・・・・・・・・・・・	9
<b>4. 市民生活の維持</b>	
（1）戸籍の振り仮名記載・・・・・・・・・・・・・・・・	10
（2）子育て家庭への支援・・・・・・・・・・・・・・・・	10
（3）市税等の収入状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11
<b>5. 教育の推進</b>	
（1）ながさきピース文化祭2025壱岐市大会の開催・・・・・・・・	13
（2）こどもたちの活躍・・・・・・・・・・・・・・・・	14
<b>6. 安全・安心なまちづくり</b>	
（1）防災対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	15
（2）消防・救急の現状・・・・・・・・・・・・・・・・	15
<b>7. 議案説明</b>	
（1）補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・	16
（2）その他の議案・・・・・・・・・・・・・・・・	16
<b>8. おわりに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	17

# 行政報告

令和7年壱岐市議会定例会6月会議

## 1. はじめに

本日ここに、令和7年壱岐市議会定例会6月会議にあたり、2月会議以降、本日までの市政の重要事項及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、令和7年春の叙勲において、本市から前壱岐市長のしらかわ ひろかず白川 博一 様が地方自治功勞として旭日小綬章を、前壱岐市商工会長のよしだ ひろし吉田 寛 様が中小企業振興功勞として旭日単光章を、元壱岐市消防団副団長のむらかみ みくに村上 三國 様並びにやまうち ひらく山内 啓 様が消防功勞として瑞宝単光章を、同じく第44回危険業務従事者叙勲において、元壱岐市消防司令のやまもと よしひろ山本 良博 様が瑞宝単光章を受章されました。

また、第27回長崎県葉たばこ振興協議会優良農家表彰事業において、合同会社タカセファーム 様が長崎県知事賞を受賞されました。

この度、叙勲並びに表彰をお受けになられた皆様に対し、今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

それでは、本日までの市政の重要事項等について、ご報告いたします。

### (1) 救急医療体制の確保

医療搬送用ヘリの事故を受け、本市をはじめとする離島地域では、緊急医療搬送体制への影響が懸念される中、長崎県においては、ドクターヘリの安全確認及び運航体制の調整が進められ、佐賀県並び

に海上自衛隊との協力、また県防災ヘリの活用等、体制の維持に努めていただいているところです。

今後は、県が進める離島等医療連携ヘリ事業（RIMCAS）のドクターヘリ併用の早期実現、九州北部を中心としたドクターヘリの相互運航及び隣県医療機関との連携による積極的な受入支援体制の構築について、県との意見交換や協議を進めてまいります。

離島住民にとってドクターヘリは、命をつなぐ手段です。その重要性を再認識し、今後も長崎県と連携しながら、救急医療体制の確保に全力で取り組んでまいります。

## **（２）壱岐クリーンエネルギー株式会社の完全民営化**

壱岐クリーンエネルギー株式会社は、平成11年に旧芦辺町と株式会社なかはらとの第三セクター企業として設立され、これまで風力発電事業を中心に、再生可能エネルギー事業者として、本市の地球温暖化防止等にご尽力いただいています。

令和元年には、風力発電設備の更新によって発電規模を拡大され、売電収益の確保も順調になされており、安定した経営が図られているところです。

このような状況に鑑み、同社においては既に第三セクターとしての役割を全うされており、今後は民営化によって、より効率的な経営が行われることで、本市の地域脱炭素の実現や地域経済の振興等に対して、さらなる貢献がなされるものとの判断し、同社とも協議を重ね、昨年度末に本市が保有する同社の株式の譲渡をもって、完全民営化が果たされました。

これに伴いまして、同社は壱岐市長の調査等の対象となる法人を定める条例の対象外となり、今回、同条例の一部改正について、議案を提出しておりますので、ご審議を賜りますようお願いいたします。

### **(3) ふるさと納税の推進**

ふるさと納税の令和6年度実績は、寄附件数2万382件、寄附総額7億9,891万円であり、対前年比6,158件、約8,000万円の減となりました。

減少の主な要因は、都市部の自治体における取組強化等の自治体間競争の激化に加え、物価高騰に伴う生活必需品及び昨年1月に発生した能登半島地震への寄附の集中によるものと捉えています。

本市の貴重な自主財源獲得のため、寄附される方のニーズに合った定期便をはじめ、魅力的かつ売れる返礼品開発のほか、本市の課題でもある安定供給対策など、市内事業者との連携強化を図り、また先進的な自治体への視察及び研究により、本年度目標額10億円獲得に向け、さらなる推進を図ってまいります。

また、ケーブルテレビや広報紙を活用して、制度の周知を引き続き積極的に行ってまいりますので、市民皆様には島外にお住まいのご親族や友人・知人の皆様への寄附の呼びかけにご協力賜りますようお願いいたします。

企業版ふるさと納税については、令和6年度実績として株式会社ファウンテック、九州郵船株式会社等、計19社から合計2,931万円のご寄附をいただいております。壱岐ウルトラマラソン、壱岐高校

野球部の甲子園出場に対する支援をはじめ、各事業の推進に有効活用させていただいています。

企業版ふるさと納税制度は、財源確保に留まらず、関係人口創出及び人材確保の面からも有益な制度であることから、エンゲージメントパートナー制度と併せて、引き続き関係企業への働きかけ及び企業にとって魅力ある創生事業の情報発信を行う等、積極的に本制度を活用してまいります。

#### **(4) 組織機構の見直し**

市の組織機構については、多様化・高度化する行政ニーズに的確かつ迅速に対応するため、これまでも課の新設・統廃合など、効率的な行政運営を行ってまいりました。

今般、第4次壱岐市総合計画の確実な推進及びより一層の行政運営効率化を図るため、6月1日付で組織機構の見直しを行ったところです。

主な内容としましては、部の名称を「企画振興部」から「地域振興部」に、「農林水産部」から「産業推進部」に変更し、地域振興部内には「文化スポーツ振興課」を創設し、文化・スポーツの相乗効果による観光誘客の強化を図ってまいります。

また、これまで企画振興部に配置していました商工振興課を、産業推進部へ移管し、一次産業との連携強化による産業の推進を図ってまいります。

この他、企画振興部情報管理課の業務を総務部へ移管するなど、組織機構については、今後も効率的な行政運営と行政ニーズの把握

に努めつつ、限られた職員数の中で継続的な行政運営ができるよう努めてまいります。

## 2. 交流人口の拡大

### (1) 観光施策の推進

本市への観光客数を推計する上で、重要な指標である九州郵船及びオリエントルエアブリッジの令和6年度の乗降客数は60万2,417名、対前年比99.94%でありましたが、コロナ禍前の令和元年度と比較しますと86.13%にとどまっており、依然としてコロナ禍前の水準に戻り切れていない状況です。

また、本年のゴールデンウィーク期間中の乗降客数の速報値は、対前年度比で約96%との見込みとなっています。その原因として、飛び石連休で休日が分散したことに加え、天候の不安定さといった外的要因も影響したものと考えています。

このような中、対馬市との連携による「壱岐市・対馬市周遊ツアー送客支援事業」をはじめ、国内外旅行者の送客支援、受入れ体制整備及び情報発信を目的とした「滞在型観光旅行商品造成支援事業」、県の離島誘客促進施策である「長崎しま旅促進事業」等、観光需要回復のため、即効性の高いと見込まれる事業に取り組んでまいります。

また、本市における今後の観光振興の指針として、「壱岐市観光戦略2025～2027」を策定いたしました。これまでの3か年計画である「壱岐市観光振興計画」を踏まえつつ、「地域の価値と新しい人の流れが未来をつくる島」を目指し、本戦略に基づき、地域が

一体となった観光施策を推進してまいります。

## **(2) ツール・ド・壱岐島の開催**

本市の一大イベントである「ツール・ド・壱岐島2025」を、6月8日に開催いたします。北は宮城県から南は沖縄県まで、島内外467名のエントリーをいただいております。

当日は一部交通規制を行うため、市民皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたしますとともに、壱岐市消防団並びにボランティアスタッフをはじめ、市民皆様のご協力、そして沿道からのあたたかいご声援をお願いいたします。

## **(3) スポーツ合宿の誘致**

スポーツ合宿については、女子バスケットボールの「SMBC TOKYO SOLUA」が、選手・ヘッドコーチなどチーム関係者22名で来島し、4月29日から5月3日まで合宿を行いました。

6月11日からは、同じく女子バスケットボールの「日立ハイテククーガーズ」及びプロバスケットボール選手の強化育成・マネジメントを行うライムズスポーツコンサルティング株式会社による合宿が予定されており、男子プロバスケットボールチーム所属の選手も参加される見込みです。

また、合宿期間中には一流選手に学ぶ機会として、こどもたちを対象としたバスケットボール教室も予定しています。

引き続き実業団等への誘致を強化しながら、「スポーツ合宿を壱岐島で！」の定着に向けた取組を進めてまいります。

#### **（４）企業研修の誘致**

本市とエンゲージメントパートナー協定を締結いただいている株式会社日本旅行の新入社員８０人が参加する企業研修が、５月１３日から１５日まで実施されました。

本研修は、壱岐市がＳＤＧｓ未来都市として推進している様々な取組を視察・体験いただくことを目的としており、スマート農業の現場やフグの陸上養殖施設の視察をはじめ、市内各所で学びの機会を提供したところです。

研修では、参加者がそれぞれの視点から本市に関する研究課題を設定し、グループごとにまとめた成果を発表するなど、非常に意欲的な取組が行われました。

また、企業研修の誘致という観点においても、モデルケースとなる大変有意義なものであり、今後の受入れ体制の整備及び新たな交流人口の創出にもつなげてまいります。

さらに、今回の研修をきっかけとして、壱岐を訪問先とする旅行商品の造成等にもつながることを期待しています。

### **３．産業の振興**

#### **（１）農業の振興**

令和６年度の本市農業生産額は、前年比１０１．４％の５２億３，５００万円となり、そのうち畜産物が３７億４，９００万円で約７割を占めています。また、水稻については栽培面積７２６ヘクタールの内、高温耐性品種の「つや姫」、「にこまる」、「なつほのか」

への作付けが全体の約63%に達しており、販売金額は前年比131%の6億300万円となりました。

畜産業については、令和6年度の子牛出荷頭数は4,072頭と、前年度より91頭の減となり、子牛平均価格は54万千円と前年比1万2千円安と厳しい状況でありましたが、4月子牛市では平均価格62万円を超え、6月1日、2日に開催された子牛市では、4月の平均価格と比較し、1万1千円高の63万2千円となり、回復傾向となっています。

農業の持続的発展には、担い手対策が最重要課題でありますので、地域農業の牽引者である認定農業者の育成、新規就農者や集落営農組織等、多様な担い手の確保に努めるとともに、農地中間管理機構による担い手への農地の集積や、農業経営の規模拡大等に適応したスマート農業も取り入れ、効率的かつ安定的な農業経営に向けた取組に対する支援を進めてまいります。

## **(2) 水産業の振興**

令和6年度の本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較しますと、漁獲量は10%減の約1,547トン、漁獲高は13%減の約19億8,000万円と、漁獲量、漁獲高ともに減少しています。

これは、海水温が例年より高く、イカ類等が不漁であったことや、直近では時化が多く、出漁できなかったことが要因だと思われ、本市の水産業を取り巻く環境は、漁獲の減少、魚価の低迷、生産コストの高止まり、漁業者の高齢化並びに後継者不足など、依然として厳しい状況が続いています。

このような中、クロマグロの漁獲枠については、昨年のWCPFCの本会議にて、資源回復による増枠が採択されたことを受け、壱岐海区においても、本年度は基礎配分で小型魚は22%増の約192トン、大型魚は33%増の約160トンが配分されたところです。

今後は漁獲の実態を注視し、漁業者及び漁協の意見等を踏まえたうえで、県への要望につなげてまいります。

また、資源の回復を図るため、本市の重要施策として取り組んでいる磯焼け対策については、令和元年度からイスズミ等の植食性魚類駆除をはじめとした藻場の再生に積極的に取り組んでおり、漁業者皆様の協力により、令和6年度までにイスズミを約3万5,000尾、アイゴを約42トン駆除しています。

その結果、壱岐南西部の海域で藻場が回復しており、令和6年には前年より約60ヘクタール増の330ヘクタールの藻場の群落を確認しました。

また、この藻場について、Jブルークレジットを申請した結果、760t-CO<sub>2</sub>の認証を受けており、今後、クレジットの公募・販売を進め、その収益を活用して、さらに磯焼け対策を拡充させてまいります。

### **(3) 港湾・漁港の整備**

郷ノ浦港整備については、県において浮棧橋及び通路等の整備、市はターミナルビルの改修及び通路周辺の整備を終え、4月からジェットfoil乗場の移設先での運用を開始しました。今後も県と連携し、駐車場等の整備を順次進めてまいります。

勝本港整備については、県において物揚場等の整備を、市は埋立を進めており、埋立完成後の計画案について、関係者との協議を進めています。

この計画により、勝本浦で新たな賑わいを創出し、地域活性化につながる「海業」を推進していくため、国の事業を活用し、計画策定に係る所要の予算を計上しています。

## **4. 市民生活の維持**

### **(1) 戸籍の振り仮名記載**

これまで氏名の振り仮名は、戸籍の記載事項とされていませんでしたが、令和5年6月の戸籍法の一部改正により、氏名の振り仮名が戸籍に記載され、公証されることとなり、5月26日以降、本籍地の市区町村から、戸籍に記載される予定の振り仮名に関する通知が順次送付されます。

通知された氏名の振り仮名が、現に使用している読み方と同じ場合は、届出をしなくても通知された振り仮名が戸籍に記載されますが、現に使用している読み方と異なる場合は、令和8年5月25日までに、正しい振り仮名の届出が必要となります。

市民皆様には、通知が届きましたら、必ず内容をご確認くださいますようお願いいたします。

### **(2) 子育て家庭への支援**

6月1日の機構改革に併せ、子育て家庭への支援をより一層明確にするため、「いきいろ子ども未来課」の名称を「子育て支援課」に変更いたしま

した。

認定こども園については、第4次壱岐市総合計画等において、2029年までに2施設とする目標を掲げているところであり、各町の状況を踏まえ、民間事業所との連携を図りながら、慎重に整備に向けて取り組んでまいります。

地域によっては施設を新設することなく、近隣の保育所・幼稚園の既存施設活用により、認定こども園化の実現を図ることができないか、市教育委員会及び長崎県こども未来課との協議も進めてまいります。

また、さらなる保育力及び幼児教育の向上に向けては、子育て支援課に配置している幼児教育アドバイザーと、今年度から教育委員会に配属された幼児教育相談員とが連携し、保育・教育現場への訪問支援等を通じて、保育所、認定こども園及び幼稚園に対し、指導・助言を行っております。

### **(3) 市税等の収入状況**

令和6年度の市税の収入状況については、

現年度分は、調定額 22億2,745万円に対し、収入額 22億974万円で、収納率は99.2%となり、前年度99.12%を0.08ポイント上回りました。

滞納繰越分は、調定額 1億1,814万円に対し、収入額 1,893万円で、収納率は16.03%となり、前年度16.26%を0.23ポイント下回りました。

また、国民健康保険税については、現年度分が、調定額 5億

2,073万円に対し、収入額 5億281万円で、収納率は96.56%となり、前年度96.51%を0.05ポイント上回りました。

滞納繰越分は、調定額 1億1,313万円に対し、収入額 1,584万円で、収納率は14%となり、前年度14.93%を0.93ポイント下回りました。

以上が令和6年度市税等の収入決算額となります。

また、令和4年度から導入したコンビニエンスストア等でのバーコード決済での納付については、1万1,627件の利用実績であり、令和5年4月から導入したQRコード決済による納付については、1万1,087件の利用実績でした。各種納付方法等については、納税通知書の送付時にチラシを同封する等により、お知らせしています。

市では口座振替納付を推進しており、口座振替することで、納付に行く手間が省けることや余分な現金を持ち歩く必要がないことで、安全・安心な納付につながることで、金融機関窓口及びコンビニエンスストア等での納付時に、市が負担する手数料を抑制できること等のメリットがありますので、市民皆様には口座振替での納付についてご協力をお願いいたします。

今後も、市行政の基幹財源である税の確保と公平・公正な税務行政の実現に向けて取り組んでまいりますので、市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 5. 教育の推進

### (1) ながさきピース文化祭2025 壱岐市大会の開催

全国的な文化の祭典である国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が、「ながさきピース文化祭2025」として9月14日から11月30日までの約2か月半、長崎県全域で開催されます。

本市においては、一昨年より実行委員会及び専門部会を設立し、プレ大会等を経て、事業内容を協議・検討しながら、本大会の事業計画等について、承認をいただいたところです。

本市のメイン事業としましては、TBS系列「プレバト!!」の俳句コーナー等、テレビ・ラジオでおなじみの俳人 <sup>なつ</sup>夏井 いつき 先生をお招きして、句会ライブと講演会を9月27日及び28日に壱岐の島ホールにて開催します。

句会ライブでは、夏井先生の軽快なトークにより、会場とコミュニケーションを取りながら、来場された皆様への俳句レクチャーや作句、夏井先生が選ぶ優秀句の発表等、こどもから高齢者まで楽しめる内容となっています。

また、11月1日から3日には、壱岐市内の文化団体と障害者団体等が一丸となって作り上げる、壱岐市最大級の文化の祭典「壱岐市総合文化祭」を、壱岐の島ホールで開催します。

この他、会期中には壱岐市を代表する偉人「松永安左エ門 生誕150周年記念展」、「原の辻遺跡国特別史跡指定25周年記念展」など、全7つの企画展を一支国博物館等を会場に開催することとしており、市民皆様はもとより島外からの集客にも繋げてまいります。

ながさきピース文化祭2025壱岐市大会の詳細な情報につきましては、国民文化祭壱岐市実行委員会事務局から随時お知らせしてまいります。

なお、本日、議員皆様に、ながさきピース文化祭のロゴマークを形どったピンバッジを配布させていただきましたので、大会の機運向上にご協力よろしく願いいたします。

## (2) こどもたちの活躍

5月3日から5日にかけて開催された「高円宮賜杯第45回全日本学童軟式野球大会長崎県大会」において、勝本少年野球クラブが準優勝の成績を収められ、7月に和歌山県で開催される全国大会への出場が決定しました。

また、5月6日に開催された「全日本卓球選手権長崎県予選会」小学2年生以下の部において、那賀小学校2年 ひらの ゆきと 平野 幸人 さんが準優勝の成績を収められ、6月に大分県で開催される九州大会及び7月に兵庫県で開催される全国大会への出場が決定しました。

さらに、5月25日に宮崎県で開催された「第3回全九州中学生男子ソフトボール春季大会」において、クラブチームの壱岐ブレイブスが優勝しました。

文化面においても、「令和7年度長崎県高等学校総合体育大会」のポスター図案において、壱岐高校2年の ながおか あきほ 長岡 明歩 さんが最優秀賞を受賞され、同校美術部は3年連続の最優秀賞受賞となりました。

本市のこどもたちの活躍を大変うれしく頼もしく思いますとともに、こどもたちが今後も一層の成長と飛躍を遂げられるよう、市と

しても引き続き支援してまいります。

## **6. 安全・安心なまちづくり**

### **(1) 防災対策の推進**

近年、台風や大雨など風水害の頻発化・激甚化が懸念されており、いつ、どこで、こうした災害に見舞われるか、予測が困難な状況にあります。

これから集中豪雨、台風等、洪水が起きやすい時期を迎えるにあたり、自治体及び関係機関による「公助」はもちろんのこと、一人ひとりが自らの身は自ら守る「自助」、地域の皆様がお互いに助け合う「共助」の取組が重要となります。

市としましては、「危機管理は行政の最大の責務」を念頭に、関係法令及び壱岐市地域防災計画等に基づき、国、県及び関係機関との連携のもと、災害に強いまちづくりを目指し、引き続き取組を進めてまいります。

市民皆様には、避難経路の確認や備蓄品の確保など、日頃の備えに注力いただきますとともに、さらなる防災意識の向上に努めていただきますようお願いいたします。

### **(2) 消防・救急の現状**

今年に入り、全国各地で大規模な山火事が多数発生しており、県内でも五島市で鎮火に4日間を要した火災が発生し、約6ヘクタールが焼失しました。一時は火が住宅付近まで接近し、福江地区924世帯に避難指示が出されました。

本市においても、野焼き、しくり焼きに伴う火災が頻繁に発生していますので、草木を焼却する際は、必ず消防署に届出を行い、確実に消火を確認いただく等、火の取扱いに十分注意していただきますようお願いいたします。

また、今後、気温が上昇し、熱中症にかかりやすくなりますので、屋外での作業の際は、こまめな水分補給を行っていただくとともに、室内においてもエアコンや扇風機を有効に使用し、体調管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。

## **7. 議案説明**

次に、議案関係についてご説明いたします。

### **(1) 補正予算**

本議会に提出した令和7年度補正予算の概要は、一般会計補正額1億5,650万9千円となります。

なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、253億7,650万9千円となっています。

### **(2) その他の議案**

本日提出いたしました案件の概要は、条例の専決処分の報告2件、令和6年度予算の専決処分の報告1件、予算の繰越計算書の報告3件、条例の一部改正に係る案件2件、計画の策定2件、契約案件1件、予算案件1件となっています。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願いいたします。

## 8. おわりに

以上をもちまして、2月会議以降の市政の重要事項及び政策等についてご報告いたしました。様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月6日

壱岐市長 篠原 一生